



白聖

はくあ 第10号 令和5年12月19日発行



【大学受験について】

《志望理由書について学ぼう》

志望理由書は、大学で何を学ぶ意思があるのかを確かめるものです。志望理由書を通して、大学で何をどう学ぶのかという研究計画を持ち、確固たる意志を持っているかが問われます。そのため、社会的課題や興味関心を持ったきっかけを考慮しながら①学部・学科の選択理由、②大学の選択理由を書くことを推奨します。

《①学部・学科の選択理由》

「この学部・学科で研究計画を行うことには、こういう意義がある」ということを伝えていきましょう。

研究テーマとして

- ・目的意識（誰のために、何のために）
- ・具体的な研究テーマ（何を）
- ・研究テーマを扱う学問領域（どのような領域で）
- ・研究テーマを取り扱う手法（どのように研究するか）

研究の重要性として

- ・現実の理解（何が明らかになっていて）
- ・問題点、課題（何が不明確で）
- ・問題、課題解決の方針（どうすれば解決できるか）
- ・展望の提示（研究を通してどういう未来を創るか）

《②大学の選択理由》

志望校では「研究計画が、このように実行できるので、志望する」ということを伝えていきましょう。

研究に必要な資源として

- ・研究に必要な学問（身につけるべき学問）
- ・研究を推進する環境（研究室・ゼミナール）
- ・研究の支援者（専門分野を持つ教授）

大学への進学必要性として

- ・講義の活用（受講したい講義）
- ・カリキュラムとの適合性（研究活動との関連性）
- ・研究施設や支援者の存在（専門分野を持つ教授）

学部・学科の選択、大学の選択において以下の①～③を是非やってみてください。

①大学のホームページで「特色」「目指す教育」「カリキュラム」「研究内容・教授」などの**具体的な項目について調べる**。自分の考えや研究テーマが大学・学部・学科と一致しているか、方向性が合っているか確認することができます。

②可能な限り**オープンキャンパスに参加**する。実際に大学を見て、直接教授や先輩の話を聞くことで、それまでは何となく考えていたことや想像していたことが、明確に見えるようになります。

③研究テーマについて Google Scholar で**論文検索**をする。研究したいテーマが、過去から現在までどのような研究がなされてきたのかを知ることができます。さらに、もっと詳しく知りたいと思った内容に関しては、**何冊かの書籍を読んで**いきましょう。

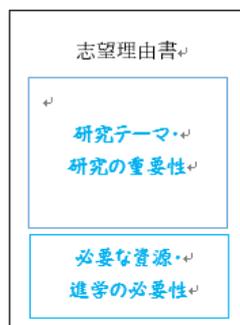
志望理由書の構成としては、右下図のようなイメージを持ってみましょう。

《研究テーマ・研究の重要性》

志望する学部学科で何を学びたいか、どのような社会的課題・背景・歴史があるのか、その学問分野に興味を持ったきっかけ、どのような手法を用いるのか、目指す将来像など。

《研究に必要な資源・進学の必要性》

教育理念のもとでどのように学びたいか、研究室・講義・研究施設・環境など。



《高校で育成することを目指す資質・能力》

- ①実際の社会や生活の中で生きて働く 「知識及び技能」
- ②未知の状況にも対応できる 「思考力・判断力・表現力」
- ③学んだことを人生や社会に生かそうとする
「学びに向かう力、人間性等」

③の「学びに向かう力、人間性等」とは、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度のことであり「社会の構成員として、どうやって未来を創るか」ということです。

②の「思考力・判断力・表現力」とは、知識・理解を活用して、自ら課題を発見しその解決に向けて探究し、成果等を表現する力のことです。自分で手に入れた既存の知識や技能を論理的に組み合わせることであり、分析・論理思考を用いているといえます。

志望理由書では特に「学びに向かう力、人間性等」や批判・創造思考が問われます。それは、大学が知の最先端、まだ見ぬ世界を見ようとするところだからです。未来を創ろう・まだ見えない世界を見に行こうという高い志を持ち「こうしていきたい」という提案ができる受験生を、評価したくなるわけです。

一方、志望理由書を知識・理解と分析だけで語ると過去と現在の話のみで終わってしまい、未来について自分の考えを述べられていません。大学で「知」を生み出したいと願う人はここだけで立ち止まらず、自分で研究テーマを設定し、仮説を立て、調査・実験・検証を繰り返し、自分なりの答えを見出したいという、未来に向けた志や希望について書くことができます。このような活動はまさに「総合的な探究の時間」です。

総合的な探究の時間で行われるゼミ活動とは、

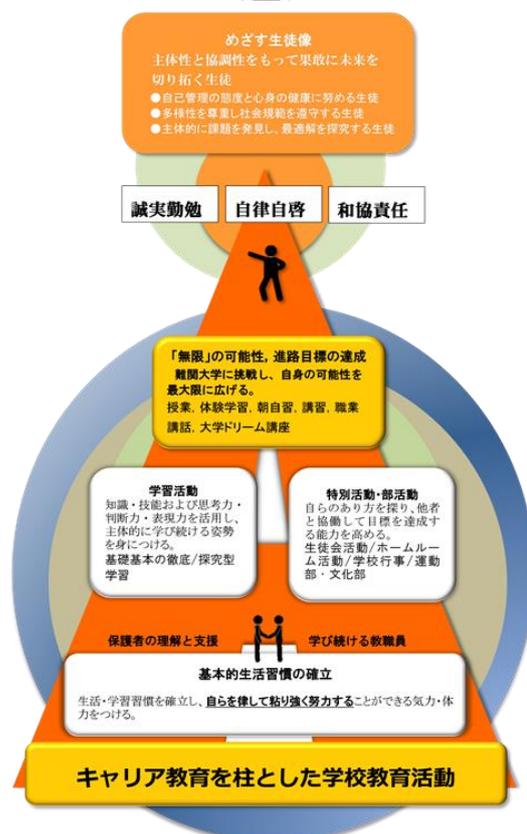
- ①横断的・総合的な課題（現代的な諸課題）
- ②地域や学校の特色に応じた課題
- ③自分の興味・関心に基づく課題
- ④職業や自己の進路に関する課題

上記の①～④のいずれかについて課題設定し、その課題解決を図る主体的・協働的な学習活動を通して、問題解決能力や自発的・創造的な態度を育てる活動です。

また、志望理由書と総合的な探究の時間は密接に繋がっています。さらに、研究テーマを設定し、仮説を立てて、調査・実験・検証を繰り返し、自分なりの答えを見出す探究活動では「青高力 ～身につける10の資質・能力～」を育むことができると考えています。

皆さんが本校を卒業した後に、大学や職場など様々な社会活動で活躍してもらえるように身につけてもらいたい資質・能力が「青高力」と言えるでしょう。

文責：進路指導部 中田 隼大



グランドデザインの具体化



めざす生徒像の実現に向けて、本校では10の資質・能力（青高力）を定義し、青高力が身につくよう日々の教育活動に取り組んでいます。

青高力 身につける10の資質・能力

知力・学力	課題発見力	行動力	協働力	受領力・発信力
論理的思考力	課題解決力	原因分析力	自己管理能力	自己実現力

10の資質・能力とは？

- 知力・学力** …各教科の内容を理解し、それを活用する力及び技能
- 課題発見力** …複数の統計や資料から、改善・克服すべき課題を設定する力
- 論理的思考力** …客観的データや先行研究をふまえ、自らの理論を紡ぎ立てて構築する力
- 課題解決力** …解決のための仮説を立て、それを検証するために行動する力
- 原因分析力** …課題の背景や要因を、複数のデータに基づいて多角的な視点でとらえる力
- 受領力・発信力** …人の話を傾聴し様々な情報を受け取る力、自分の考えをわかりやすく相手に伝える力
- 協働力** …他者の価値観を尊重しつつ他者と協力し、一つのものを作成し上げる力
- 行動力** …自分の掲げる目的を達するために、主体的かつ計画的に実行する力
- 自己管理能力** …基本的な生活習慣を確立し、健康と安全を意識して行動する力
- 自己実現力** …社会の中で生きる自分を想像し、多くの情報を活用して実現させようとする力

本校の教育活動と青高力

青高力を育てていくための主な教育活動をまとめたものです。

行事・活動名	○:育てたい力 ◎:もっとも育てたい力													
	体育祭	職業ガイダンス	大学ドリーム講座	青高祭	遠足	芸術教室	修学旅行	定期考査	実力テスト・校内模試	ゼミ活動※1	講演会	Sプロジェクト※2	Mプロジェクト※3	部活動
実施学年	全	1年	2年	全	全	全	2年	全	全	全	全	全	全	全
知力・学力							○	○	◎	◎	○		◎	○
課題発見力		○	○							◎	○		◎	
論理的思考力									○	◎	○		◎	○
課題解決力				○				○	○	◎	◎		○	◎
原因分析力								○	○	◎	◎		○	◎
受領力・発信力		○	○	◎		◎				○	○		○	○
協働力	◎			◎		◎				◎	◎		○	◎
行動力	◎			◎		◎				◎	◎		○	◎
自己管理能力	○				○		◎	○						◎
自己実現力		◎	◎								○	◎	◎	○